

須賀川市総合交通活性化協議会

事業名：須賀川市生活交通ネットワーク計画

概要

本市の公共交通の大きな役割を担っている路線バスについては、年々利用者が減少している一方で、路線維持のための市補助金は高い水準で推移しており、新たな公共交通手段として平成21年2月から運行を開始した須賀川市乗合タクシーは、現在、運行エリアを限定している現状にあり、公共交通空白エリアの解消に至っていない状態である。

そのため、中心市街地の行政機関・商業施設・医療機関・駅・団地等を結ぶ中心市街地循環バスや、長沼と岩瀬地域を結ぶ公共交通を運行することにより、交通弱者である、高齢者や学生等の交通手段の確保が必要となっている。

また、路線バス廃止等による公共交通空白地域については、乗合タクシーを活用し、順次運行エリアの拡大を行うことで、交通弱者の利便性向上と、公共交通空白地域の解消へ向けた取り組みが必要となっている。

こうした実状を踏まえ、本市に相応しい持続可能な地域公共交通体系を構築するため、年齢層や地区を考慮したアンケートの実施や各地区での住民懇談会等での意見をもとに、基本方針やネットワークの将来像、具体的な交通施策等を盛り込んだ「須賀川市総合交通ビジョン」(以下、本ビジョン)を平成22年3月に策定し、その実現に向けた計画として「須賀川市公共交通実証運行計画」を平成23年3月に策定した。

以上の計画の実行により交通弱者の利便性向上と、公共交通空白地域の解消を目的とする。

基礎データ

合併状況：平成17年4月に須賀川市・長沼町・岩瀬村が合併
人口：77,198人（平成25年4月現在）
面積：279.55平方キロメートル
高齢化率：22.6%（平成25年4月現在）
協議会開催数：平成24年度協議会は3回開催

目的・必要性

須賀川市内東循環バスは、市民ニーズの高い中心市街地内の施設を経由する。一方で、路線バスの廃止予定地域の代替機能を考慮する運行ルートの設定を行い、中心市街地の交通弱者の利便性向上と公共交通空白地域の解消を図る。

前年度事業評価の課題

定量的な目標・効果

目標：乗車人員

平成25年度（平成24年10月～平成25年9月）7,105人/年（1便当たり2.9人）

実施状況、目標・効果の達成状況

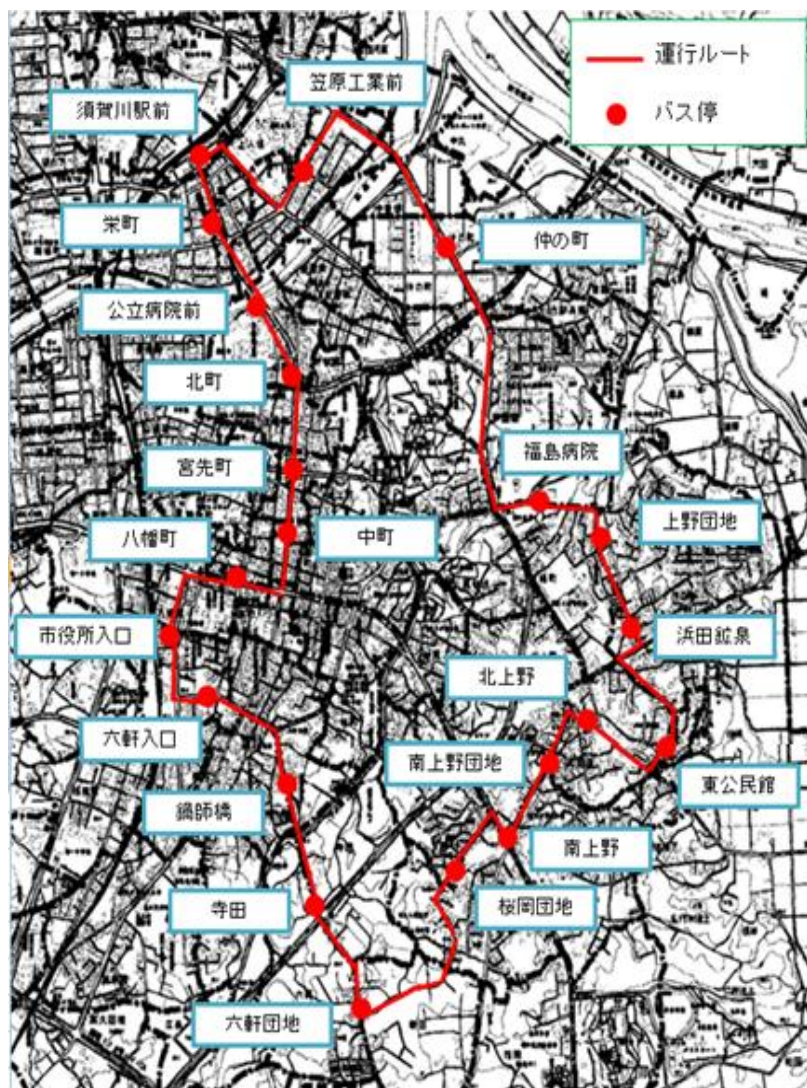
平成24年10月～平成25年3月までの実績は、6,783人（1便当たり5.7人）であった。

今後の課題・改善点

これまで、一方向（片回り）のみの運行であったが、平成25年4月1日より双方向（両回り）の運行となり、さらなる利便性の向上を図る。

※記入する際、枠の大きさの変更及び次頁に作成することも可能とします。

運行経路



使用車両



須賀川市総合交通活性化協議会の構成員

須賀川市、福島交通株式会社、須賀川岩瀬地区タクシー協議会、福島県バス協会、福島県タクシー協会、東北整備局郡山国道事務所、県中建設事務所、須賀川警察署、須賀川市嘱託員親交会、須賀川市老人クラブ連合会、須賀川市婦人会連絡協議会、須賀川商工会議所、東北運輸局福島運輸支局、私鉄福島交通労働組合、全国自動車交通労働組合連合会福島地方本部、県中地方振興局、大東商工会、長沼商工会、岩瀬商工会